

石川県輪島市水損文書対応報告書

対応年月日	2024/10/16～17
対応場所	輪島市ふれあい健康センター
対応者	全史料協調査・研究委員 林貴史

■ 対応に至る経緯

10月4日（金） 国立公文書館業務課から支援協力の相談の連絡が入る。

10月6日（日） 調査・研究委員会事務局から輪島市に連絡し、支援の希望内容等を確認する。

10月7日（月） 輪島市から、現地指導の依頼内容と日程の希望について連絡がある。

10月9日（水） 16～17日に現地を訪問し、職員に指導することで日程調整が整う。

10月16日（水）～17日（木） 前日に石川県入りし、輪島市職員への水損資料のレスキュー対応について現地指導を行う。



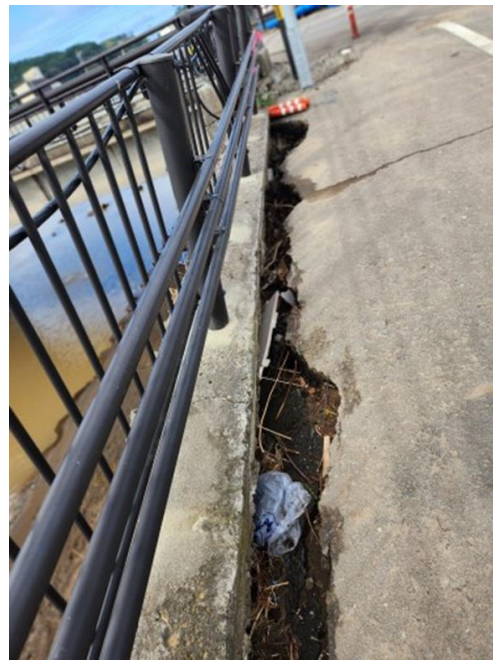
輪島市ふれあい健康センター 正面



輪島市ふれあい健康センター 入口付近



氾濫した河原田川と鳳至川
合流点遠景



新橋付近



被災文書 輪島市状況報告時



被災文書 作業説明時 2



被災文書 作業説明時 1



被災文書 作業終了時

被災状況と文書状態

輪島市ふれあい健康センターが浸水し、保管してあった文書が水損した。

救助対象の文書は、文書保存箱に収納されて床置きしてあったものが大半を占め、個人機の引き出し内に保管されていたものなど、文書保存箱10箱程度であった。

水損状況から最大60cm程度の浸水と考えられ、床置きした文書保存箱が崩れ、被害を拡大したものと考えられる。

対象文書の多くは、能登地震関連文書で、災害弔慰金申請にかかる文書がその大半を占め、未処理扱いの文書が多いと思われる。

すでに表面は乾燥しており、カビなどの甚大な被害は見られなかった。

初期対応と今後の対応

被災文書対応マニュアルに沿って、初期乾燥作業の指導と作業を実施する。

ファイル取り外し、乾燥資材（キッチンペーパーと新聞紙）の挟み込み、縦置のための文書の取り扱い、その後の処理について指導を行い、対象文書のすべてに作業を終了する。

ファイル取り外しの過程で、閉じ部分にカビの発生が確認されたものがあり、エタノールでの消毒を実施した。

乾燥後はドライクリーニングを実施するよう指導した。

日 程

2024/10/15	8:00	自宅 出発
	20:00	宿泊地 到着
2024/10/16	6:00	宿泊地 出発
	9:00	輪島市 到着
	9:15	作業内容説明
		状況確認
	13:00	作業開始
	16:30	作業終了
	19:15	宿泊地 到着
2024/10/17	6:15	宿泊地 出発
	9:00	輪島市 到着
		状況確認
		作業開始
	11:30	作業終了
	23:45	自宅 到着